

2025年12月期 決算説明会資料

2026年2月12日

株式会社ナカニシ

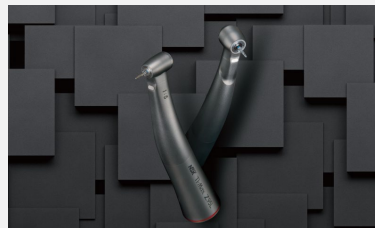
免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承ください。

歯科事業

Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・インプラント治療・訪問歯科診療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。



歯科用ハンドピース



インプラントモーター



超音波スケーラー



歯科用電気モーター

DCI事業

DCI Business

2023年に買収した米国デンタルチェアメーカーDCI社の業績を示すためにセグメントを新設。北米市場向けにデンタルチェアおよびデンタルパーツの開発・製造・販売を行っています。



デンタルチェア



デンタルキャビネット



デンタルチェア用パーツ

外科事業

Surgical Business

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用の骨切削ドリルの開発・製造・販売を行っています。



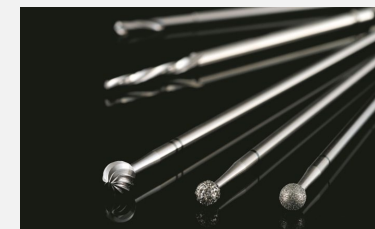
コンソール



サージカルモーター



アタッチメント



ティスポーザブル (バー)

機工事業

Industrial Business

自動車・精密部品等、幅広い製造分野の微細・精密加工で使用するモータースピンドルの開発・製造・販売を行っています。



コントローラー&スピンドル



コントローラー&スピンドル



電動ハンドグラインダー



超音波カッター

2025年12月期 連結決算概要

執行役員CFO 鈴木 大介

売上高は計画通り。外科事業は前年比+28%と大幅伸長。歯科・DCI・機工の各事業も堅調に推移した結果、連結売上高は前年比+5%で着地。

事業成長に向けて積み増した人件費・販売費を、増収に伴う利益増で吸収したものの、下半期に入って米国関税による費用増が顕在化し利益を圧迫。連結EBITDAは前年比-3%となったものの、計画比+5%で着地。

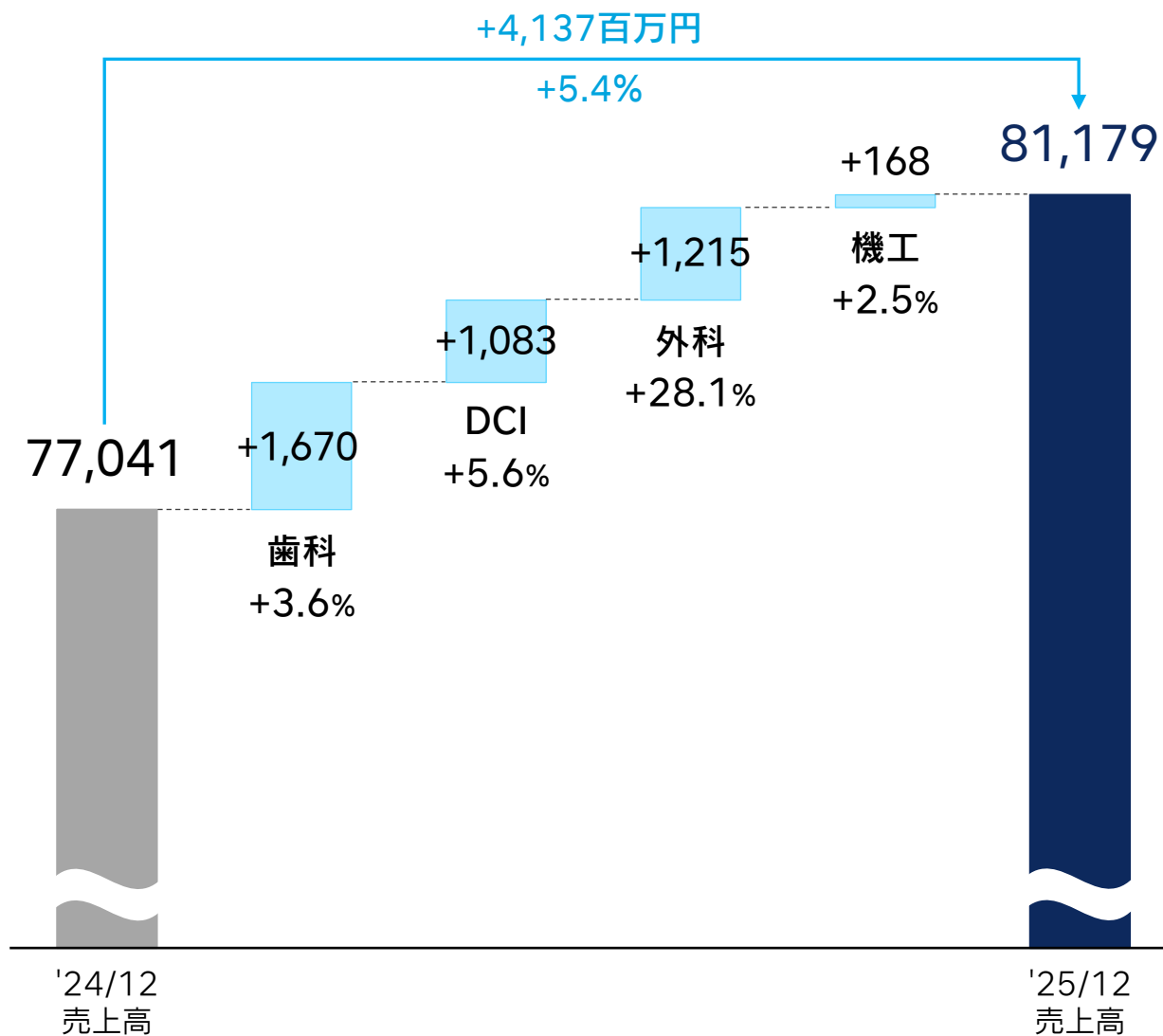
DCI事業は中計シナリオ通りに推移しているものの、米国関税による利益低減を織り込むべく減損処理。これにより当期純損失23億円となった。株主還元は減損等を控除した調整後純利益基準で、総還元性向61%を堅持。

百万円

			当期実績	前期実績	業績予想	
			2025/12	2024/12	5/12 修正	増減率
売上高			81,179	77,041	80,655	+0.6%
売上総利益			46,060	44,418	44,784	+2.8%
利益率			56.7%	57.7%	55.5%	—
EBITDA *			19,899	20,460	18,932	+5.1%
マージン			24.5%	26.6%	23.5%	—
営業利益			14,089	14,596	13,150	+7.1%
利益率			17.4%	18.9%	16.3%	—
経常利益			16,933	17,283	13,840	+22.4%
利益率			20.9%	22.4%	17.2%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益			-2,398	8,577	8,372	—
利益率			-3.0%	11.1%	10.4%	—
E P S	(円)		-28.70	101.37	—	—
* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額						
為替レート	- 米ドル	(円)	150.43	151.44	145.00	+5.43
	- ユーロ	(円)	169.18	163.80	155.00	+14.18

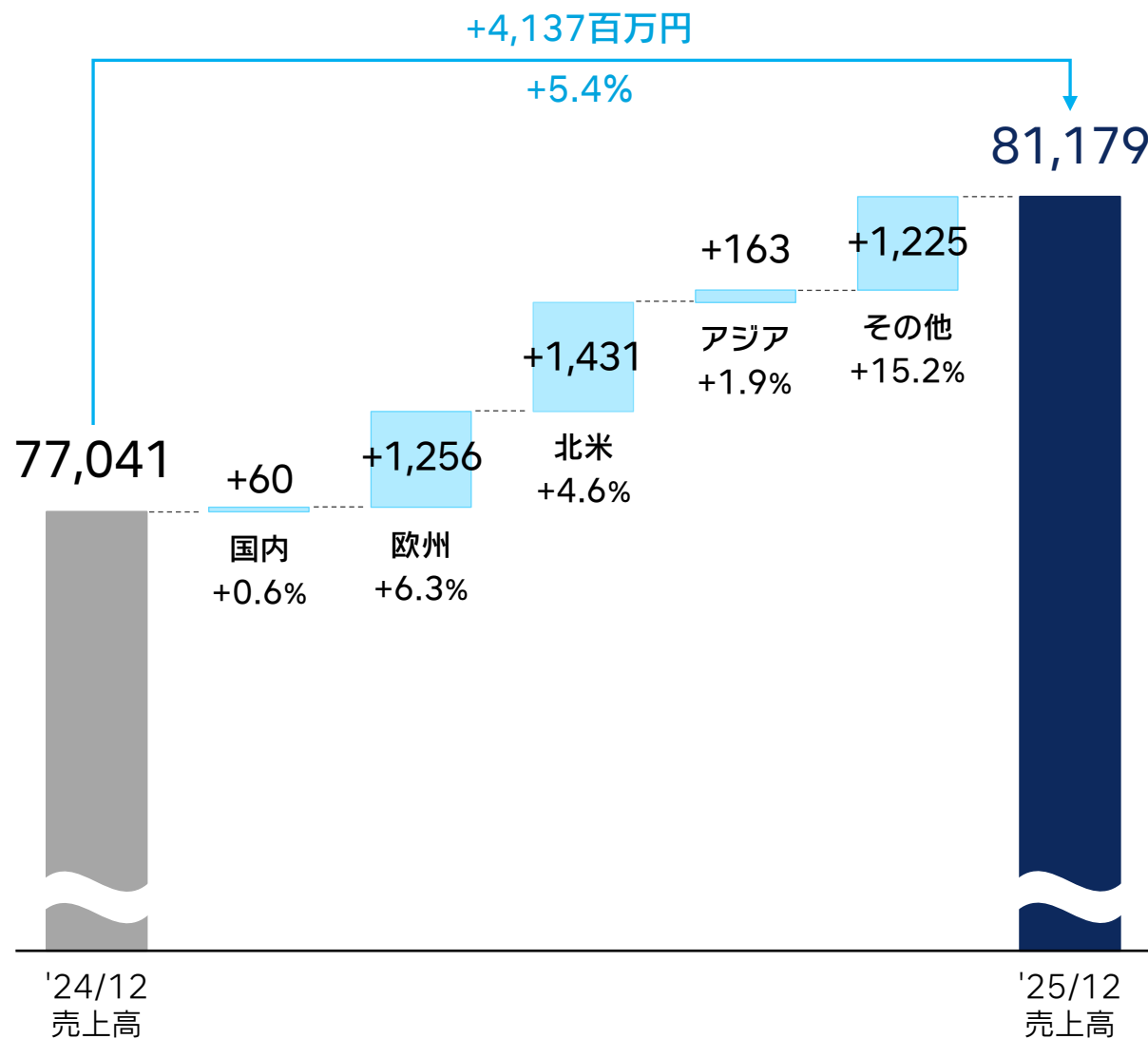
* 為替影響額：売上高 +275百万円（前期比）, +3,175百万円（予想レート比）

百万円



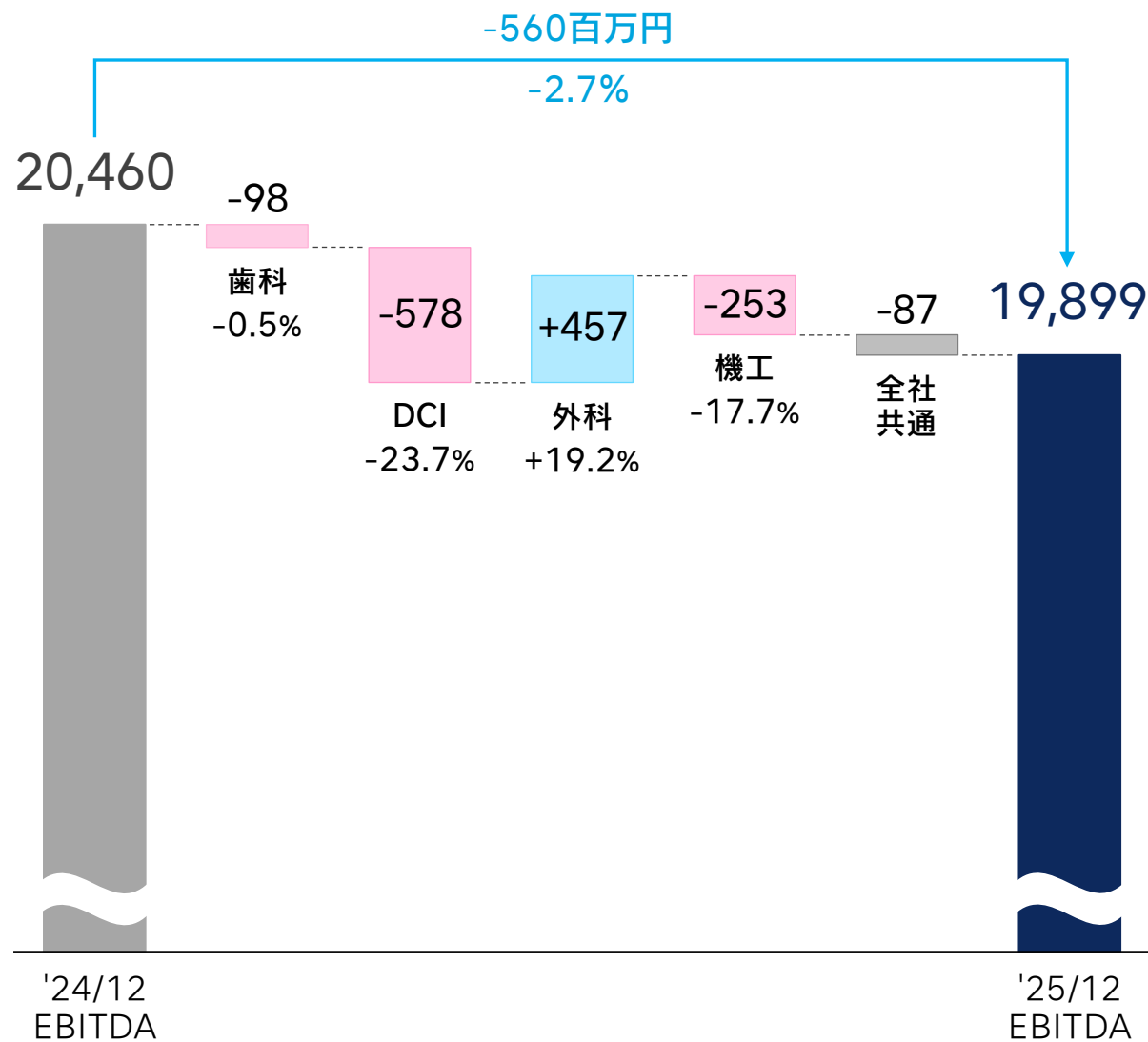
	前年同期 2024/12 A	当期実績 2025/12 B	うち、為替影響額	増減率 B/A-1
歯科事業	46,527	48,197	+325	+3.6%
DCI事業	19,454	20,538	-129	+5.6%
外科事業	4,321	5,537	+10	+28.1%
機工事業	6,738	6,906	+68	+2.5%
合 計	77,041	81,179	+275	+5.4%

百万円



	前年同期 2024/12 A	当期実績 2025/12 B	うち、為替影響額	増減率 B/A-1
国 内	9,324	9,385	-	+0.6%
欧 州	20,017	21,274	+633	+6.3%
北 米	31,144	32,575	-144	+4.6%
ア ジ ア	8,502	8,665	-117	+1.9%
そ の 他	8,052	9,277	-96	+15.2%
合 計	77,041	81,179	+275	+5.4%

百万円

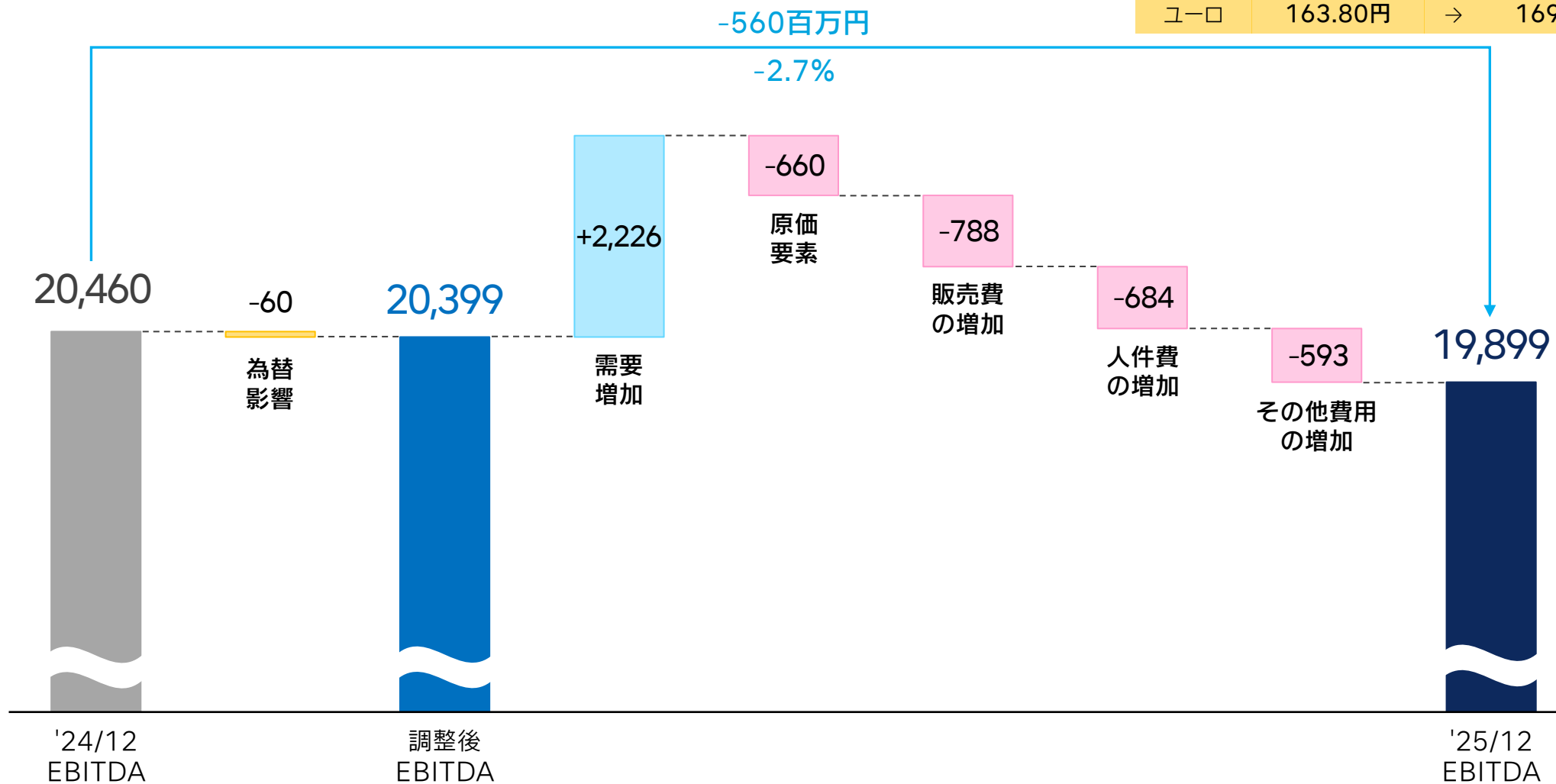


	前年同期 2024/12 A	当期実績 2025/12 B	増減率 B/A-1
歯科事業	19,337	19,238	-0.5%
DCI事業	2,444	1,866	-23.7%
外科事業	2,379	2,837	+19.2%
機工事業	1,434	1,180	-17.7%
全社共通	-5,135	-5,223	-
合 計	20,460	19,899	-2.7%
為替影響額 (前期比)			-60百万円 (-0.3%)

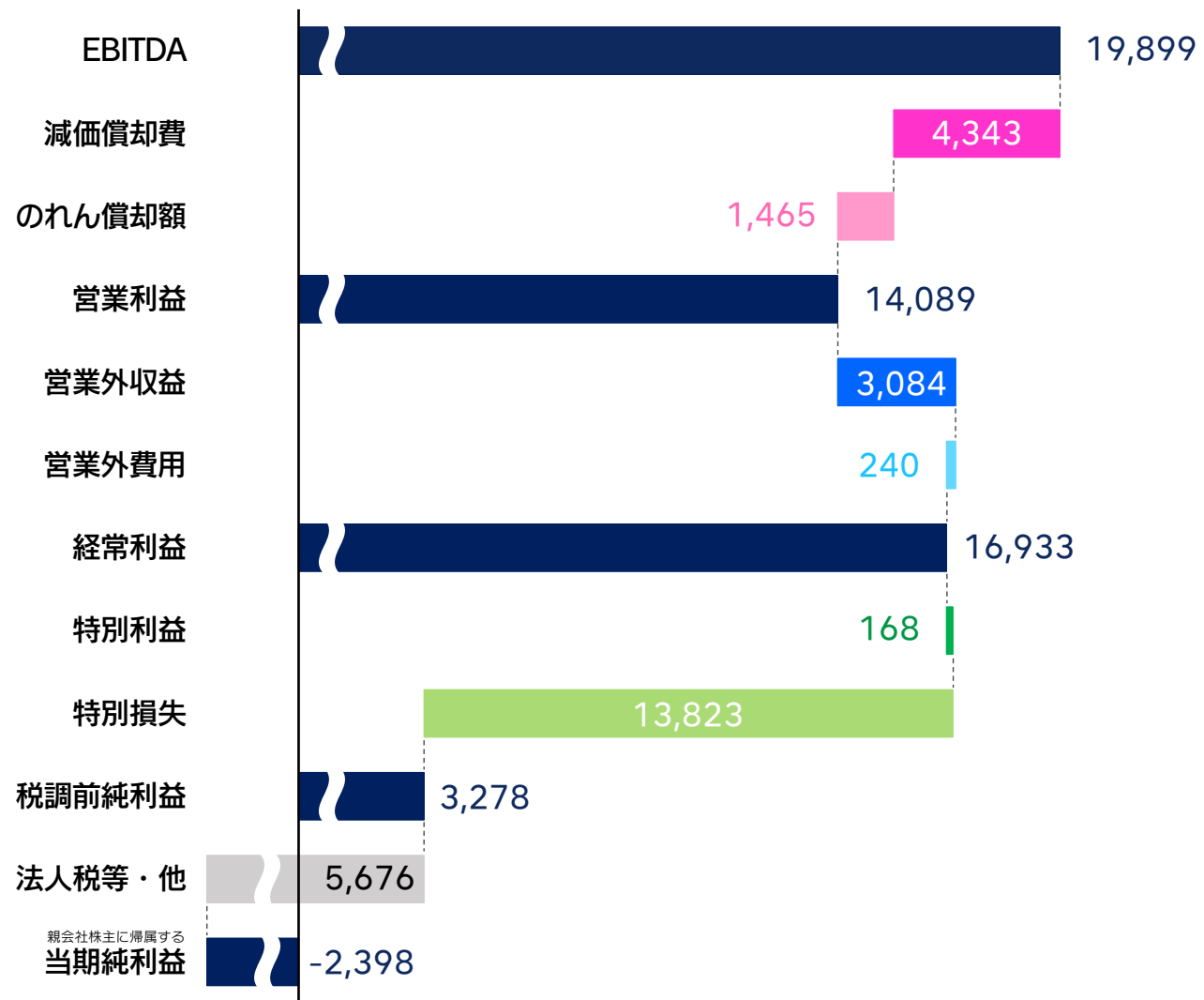
百万円

平均為替レート

	2024/12 実績		2025/12 実績
米ドル	151.44円	→	150.43円
ユーロ	163.80円	→	169.18円



百万円



営業外収益

・受取利息	979
・為替差益	1,517

営業外費用

・支払利息	199
-------	-----

特別利益

・訴訟損失引当金戻入額	164
-------------	-----

特別損失

・固定資産除却損	30
・減損損失	13,774

DCI事業の状況

事業の進捗状況 Positive

買収後のPMI活動は順調。成果の一部として「DCI x NSK 製品バンドル販売率」が大きく向上、「大手ディーラー・パターソン社との取引開始」を実現

事業環境の変化 Negative

米国政府による関税政策によってデンタルチェアの主要部品の一部で輸入コストが高まり、利益を圧迫。結果として当初計画を下回る利益率で推移

関税によるコスト構造変化をふまえ事業計画を見直し
のれんの減損損失として137億円を計上

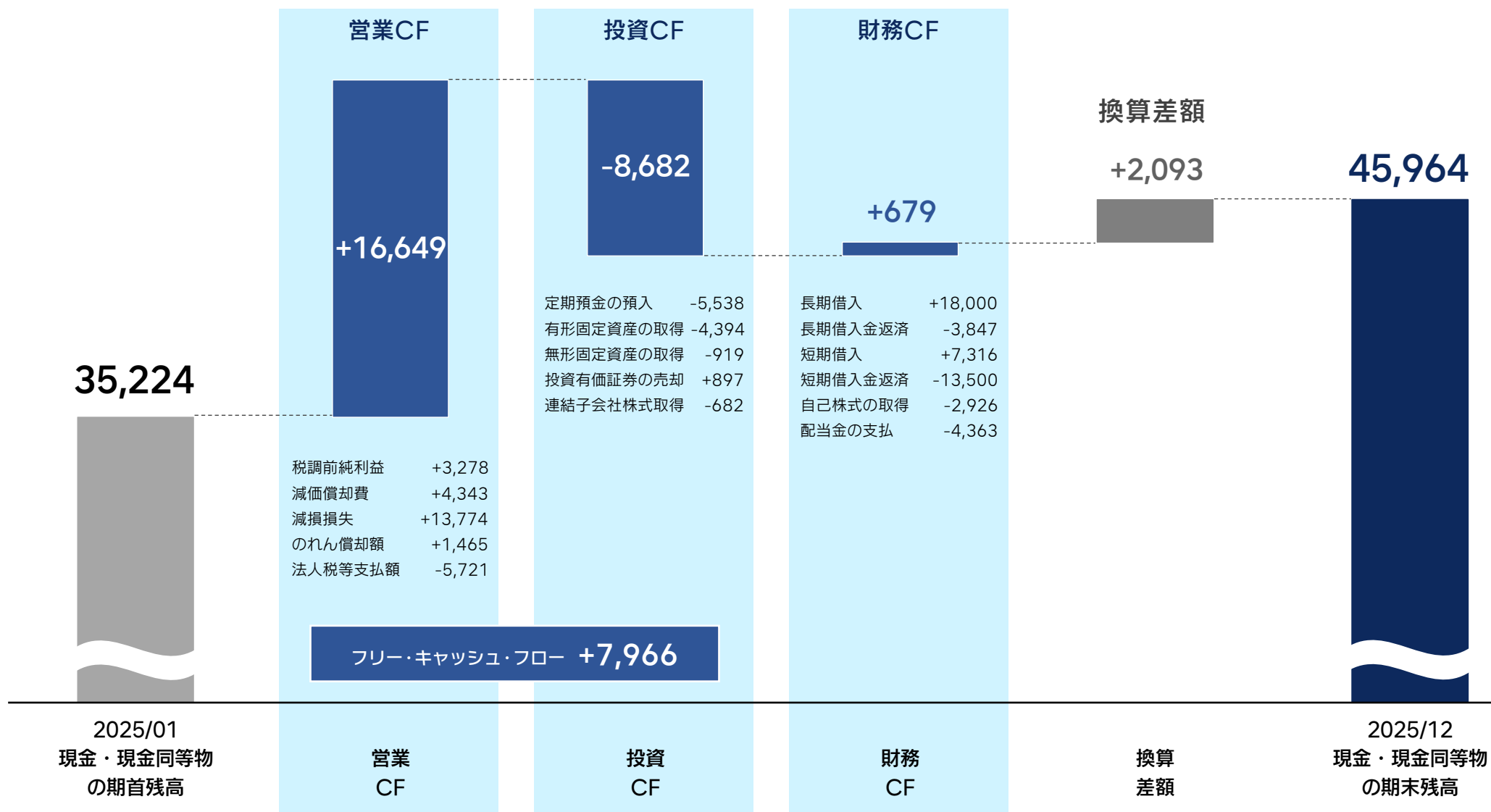
* DCI買収当時、キャッシュアウトを伴わない段階取得に係る差益114億円を計上し、のれん・無形固定資産が増加していました。

* 本減損処理によって2026年12月期以降は年間約10億円ののれん償却額の計上がなくなり、連結営業利益が改善する見込みです。

百万円

		当 期 末 2025/12	前 期 末 2024/12	増減額	主な増減内容	
総資産		160,155	158,299	+1,855	・ 建物及び構築物	+2,348
- 現金及び預金		61,317	46,051	+15,266	・ 建設仮勘定	+545
- 棚卸資産		25,565	25,024	+540	・ 商品及び製品	+678
- のれん		5,391	21,389	-15,998	・ 仕掛品	-534
					・ 原材料及び貯蔵品	+397
負債		46,081	37,100	+8,980	・ 買掛金	+676
- 有利子負債		26,772	18,728	+8,044	・ 短期借入金	-6,148
					・ 1年内返済長期借入金	+5,983
					・ 長期借入金	+8,208
純資産		114,074	121,199	-7,124	・ 自己株式	-2,921
- 利益剰余金		110,046	116,593	-6,547		
自己資本当期純利益率	(ROE)	-2.0%	7.3%	-9.3pt		
総資産経常利益率	(ROA)	10.6%	11.6%	-1.0pt		
		当期実績 2025/12	前期実績 2024/12	増減額	当期実績の主な内容	
設備投資額		5,302	5,335	-33	・ M1関連	2,004
					・ 機械装置	247
減価償却費		4,343	4,208	+135		

百万円



2026年12月期 連結業績予想

売上高 881億円(+8.6%)

■ 販売管理費 ……

全事業で増収、6期連続で過去最高売上高の更新を見込む

外科事業の成長投資として、販売費・人件費・研究開発費の増加を見込む

EBITDA 206億円(+3.7%)

■ 減価償却費 ……

増収に伴う利益増で費用吸収、過去最高益の更新を見込む

DCI関連ののれん償却負担が低減

営業利益 156億円(+11.0%)

■ 営業外損益 ……

2022年度以来、4期ぶりに過去最高益の更新を見込む

前期に計上した為替差益15億円が剥落

経常利益 154億円(-8.5%)

■ 特別損益 ……

■ 法人税等 ……

前期に計上した為替差益の剥落により、減益を見込む

前期に計上した減損損失137億円が剥落

前期に計上した過年度法人税等11億円が剥落

親会社株主に帰属する
当期純利益 109億円 (-)

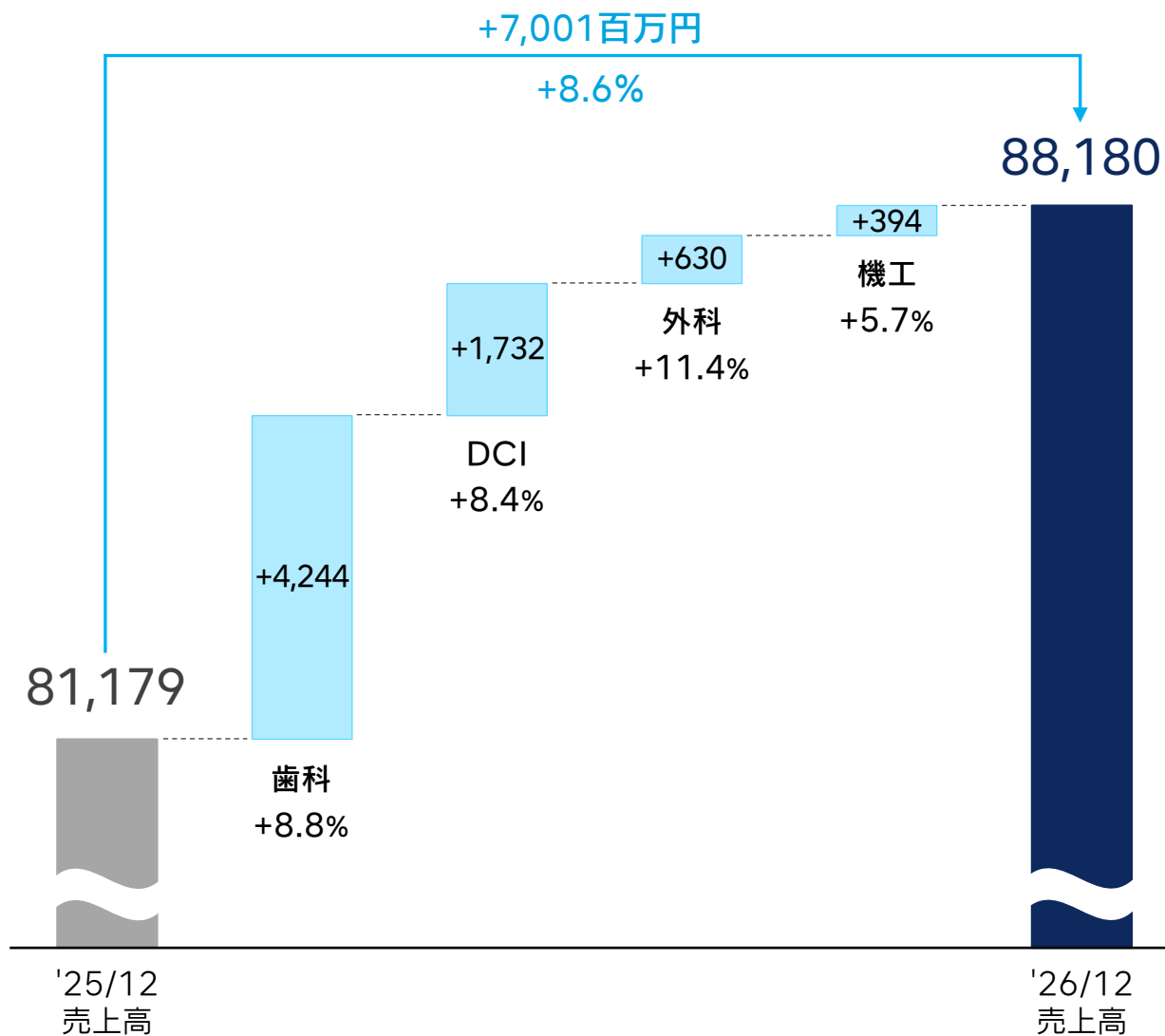
一過性の費用の剥落により、純利益の黒字化を見込む

百万円

		今期予想 2026/12	当期実績 2025/12	増減額	増減率	
売 上 高		88,180	81,179	+7,001	+8.6%	
売 上 総 利 益		48,768	46,060	+2,707	+5.9%	
	利 益 率	55.3%	56.7%	-1.4 pt	—	
E B I T D A *		20,640	19,899	+740	+3.7%	
	マージン	23.4%	24.5%	-1.1 pt	—	
営 業 利 益		15,642	14,089	+1,552	+11.0%	
	利 益 率	17.7%	17.4%	+0.4 pt	—	
経 常 利 益		15,486	16,933	-1,447	-8.5%	
	利 益 率	17.6%	20.9%	-3.3pt	—	
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益		10,943	-2,398	+13,341	—	
	利 益 率	12.4%	-3.0%	+15.4 pt	—	
E P S	(円)	130.98	-28.70	—	—	
設 備 投 資 額		11,304	5,302	+6,001	—	ナカニシ単体：3,101 グループ各社：8,203
減 価 償 却 費		4,538	4,343	+194	—	
為替レート						
- 米ドル	(円)	150.00	150.43	-0.43	—	為替感応度：年間売上高 269百万円
- ユーロ	(円)	170.00	169.18	+0.82	—	為替感応度：年間売上高 103百万円

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

百万円

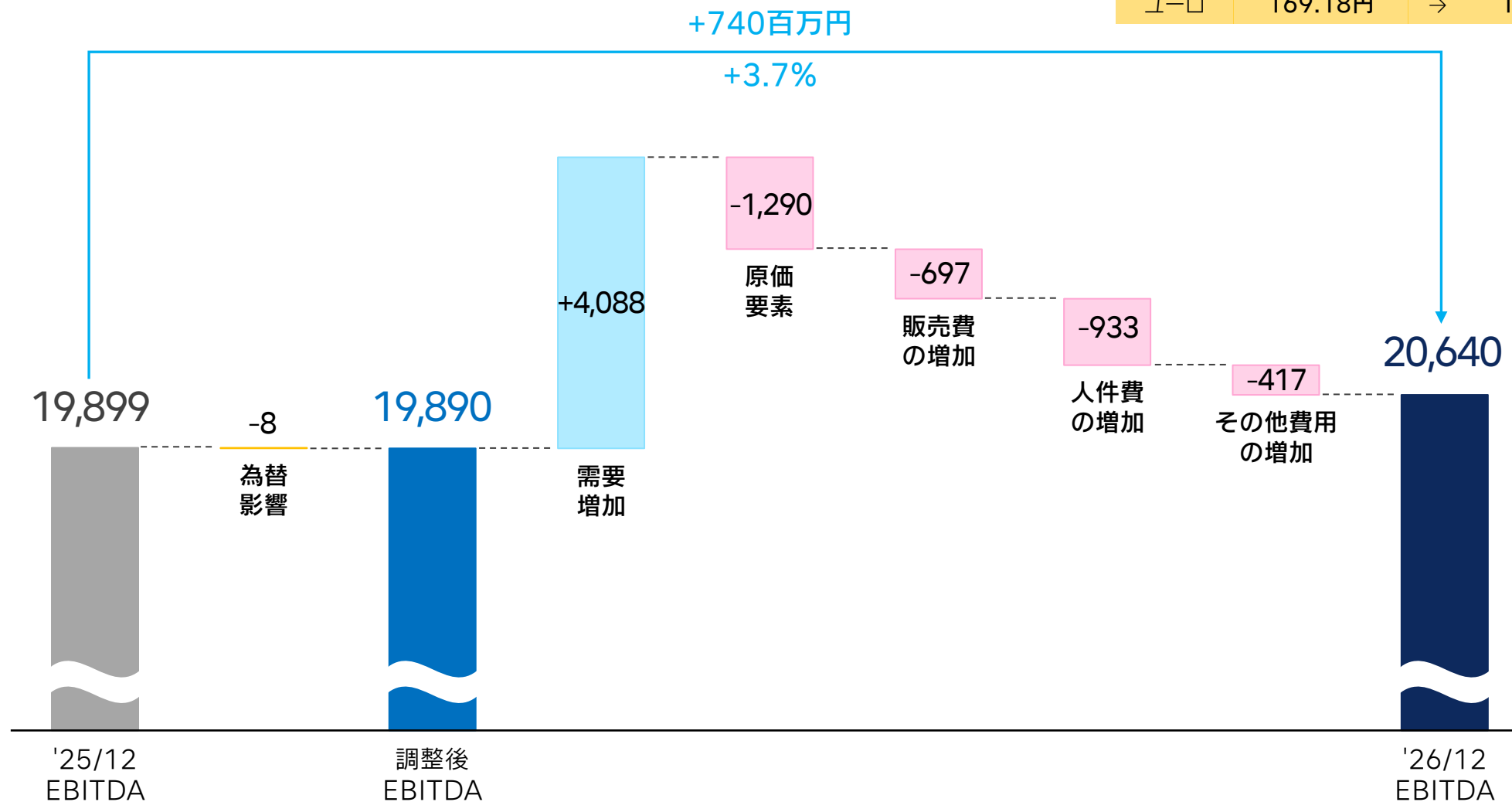


	当期実績 2025/12	今期予想 2026/12	増減
歯科事業	48,197	52,441	+8.8%
DCI事業	20,538	22,270	+8.4%
外科事業	5,537	6,168	+11.4%
機工事業	6,906	7,301	+5.7%
合 計	81,179	88,180	+8.6%
為替影響額（前期比）			-204百万円 (-0.3%)

百万円

平均為替レート

	2025/12 実績		2026/12 予想
米ドル	150.43円	→	150.00円
ユーロ	169.18円	→	170.00円



株主還元

配当金の基準となる当期純利益を下記の通り補正

[一過性・減益要素]

DCI社の減損処理
に伴う純利益の減少額

13,766百万円

[継続性・減益要素]

DCI段階取得に係る差益
で増加したのれん償却額

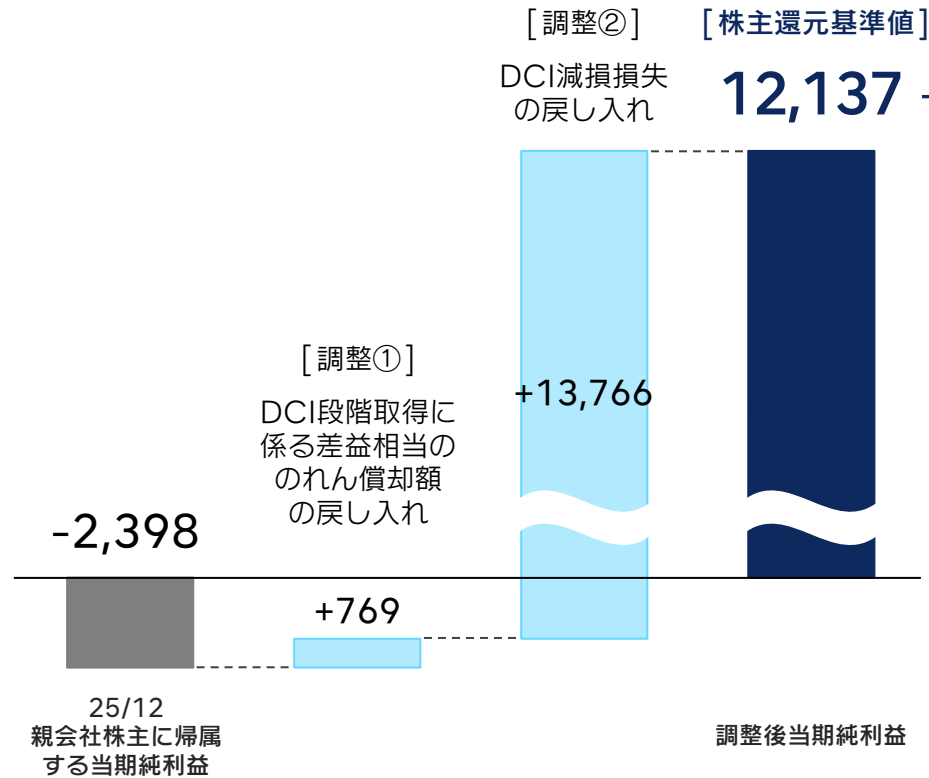
769百万円

2025年12月期の配当金算定では上記要素を除外

* DCI社ののれんは米ドル建てのため、為替レートの変動に伴って償却額が増減します

百万円

株主還元基準値の調整



2025年12月期 株主還元

自己株式の取得

2025年2~12月	取得株数 1,416,300株	取得総額 2,926百万円
		計 2,926百万円

配当金

中間配当	一株当たり 26円 00銭	配当総額 2,167百万円
期末配当 *	一株当たり 28円 00銭	配当総額 2,325百万円
		計 4,493百万円

2025年12月期 株主還元 *

調整後当期純利益ベース	配当性向 37.0%
調整後当期純利益ベース	総還元性向 61.1%

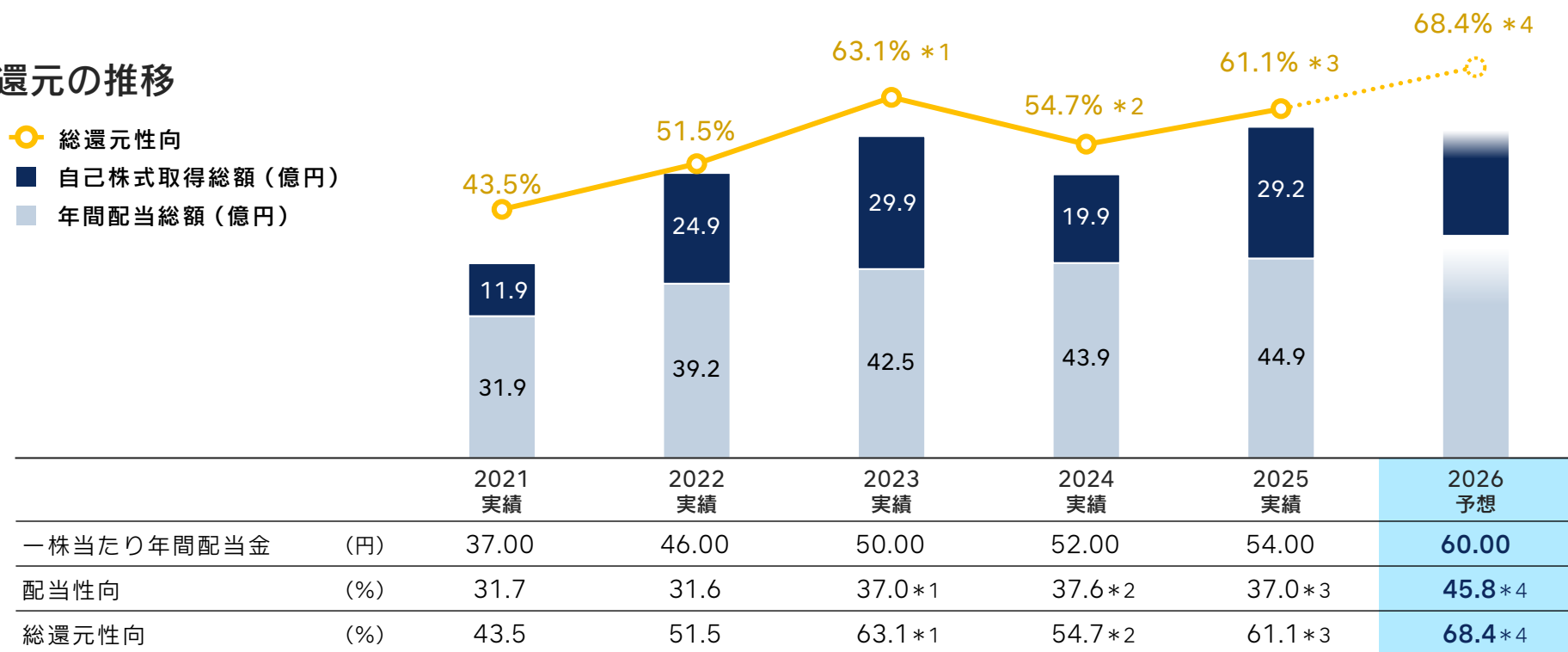
* 第74期定時株主総会に上程予定

株主還元の方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主還元をバランスよく実施

中期経営計画「NV2030」では株主還元の指標として総還元性向（自己株式取得+配当）を引き続き採用。「累進配当制度」を適用し「総還元性向70%」に引き上げ

株主還元の推移



*1 DCI買収に係る特別利益等を除外した調整後純利益を基準に算出

*2 仕入減損に伴う特別損失等を控除した調整後純利益を基準に算出

*3 DCI減損に伴う特別損失等を控除した調整後純利益を基準に算出

*4 2026業績予想の純利益を基準に算出

2025事業概況と2026施策

代表取締役社長執行役員 中西 英一

上半期に伸び悩んだ国内・北米・アジアの販売も 下半期からは増加に転じ、全市場で増収となった

欧州	212.7億円	YoY +6.3%	歯科	外科	機工
上半期	102.7億円	YoY +1.7%	歯科	外科	機工
下半期	109.9億円	YoY +10.9%	歯科	外科	機工

国内	93.8億円	YoY +0.6%	歯科	外科	機工
上半期	45.1億円	YoY -3.0%	歯科	外科	機工
下半期	48.7億円	YoY +4.2%	歯科	外科	機工

北米	325.7億円	YoY +4.6%	歯科	DCI	外科	機工
上半期	151.9億円	YoY -0.6%	歯科	DCI	外科	機工
下半期	173.8億円	YoY +9.6%	歯科	DCI	外科	機工

アジア	86.6億円	YoY +1.9%	歯科	外科	機工
上半期	42.2億円	YoY -6.5%	歯科	外科	機工
下半期	44.4億円	YoY +11.5%	歯科	外科	機工

南米・中近東・ロシア・オセアニア	その他	92.7億円	YoY +15.2%	歯科	外科	機工
上半期	49.8億円	YoY +24.5%	歯科	外科	機工	
下半期	42.9億円	YoY +6.1%	歯科	外科	機工	

さらなる事業成長に向けた海外拠点の新設・強化

欧 州

強化	NSK Europe	ドイツ	2003	歯科・外科
		東欧	2026	歯科
	NSK France	フランス	2005	歯科
強化	NSK United Kingdom	イギリス	2007	歯科・外科
強化	NSK Dental Spain	スペイン	2008	歯科・外科
	NSK Dental Italy	イタリア	2013	歯科
	NSK Dental Nordic	スウェーデン	2019	歯科
	Nakanishi Jaeger	ドイツ	2022	機工
新設	NSK Schweiz	スイス	2026	歯科
北 米				
大幅増員	NSK America	米国（IL）	1984	歯科・外科・機工
	DCI International	米国（OR）	2023	DCI

アジア

	NSK Shanghai	中国（上海）	2005	歯科・外科
移転	NSK Asia	タイ	2009	歯科
	NSK Dental Korea	韓国	2014	歯科
強化	NSK Dental Manufacturing	中国（四川）	2023	歯科・外科
	REFINE Medical	中国（桂林）	2023	歯科

その他（南米・中近東・ロシア・オセアニア）

強化	NSK Middle East	U.A.E.	2000	歯科・外科
	NSK RUS	ロシア	2007	歯科
	NSK Oceania（AU）	オーストラリア	2007	歯科
	NSK Oceania（NZ）	ニュージーランド	2007	歯科
強化	NSK America Latina	ブラジル	2013	歯科・外科
新設	NSK Turkey	トルコ	2025	歯科

全事業領域で新製品を上市。強化した製品ラインアップでグローバル競争に臨む

歯科事業
ハンドピース



Ti-Max Z99L

歯科事業
ハンドピース



S-Max M94L

歯科事業
予防歯科製品



Varios Combi Pro2

歯科事業
訪問歯科製品



VIVAace2

2025年に上市した各事業の主要な新製品群

DCI事業
デンタルチェア



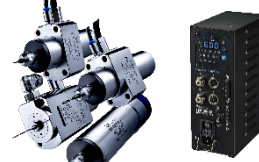
DCI Edge Series 5+

外科事業
耳鼻科用アタッチメント



UniBur

機工事業
モータ・スピンドル



E3000i

機工事業
増速スピンドル



NGS-3140-CTZ01



M.I.T. Minimally Invasive Therapy

低侵襲療法：患者の痛みや負担を最小限に抑えつつ、科学的根拠に基づいて天然歯を長期保存する手法

NSK – Dental – Global site

M.I.T. 特設ページ



<https://www.nsk-dental.com/minimally-invasive-therapy/>

欧州歯周病学会（EFP）が策定した低侵襲診療ガイドラインに基づいた治療を試みる歯科医師・歯科衛生士を、NSKの広範な製品ラインアップがトータルサポート



2026年 市場動向予測

歯科事業：需要回復が続くものの、新興国では価格競争が激化

DCI事業：需要は底堅く推移するものの、市場競争が激化

外科事業：堅調な需要に加え、競合他社撤退に伴う商機が継続

機工事業：北米・アジア・国内等、主力市場の需要は底堅く推移

2026年 基本戦略

- ▶ 歯科事業：新製品を含めた競争力ある主力製品をグローバルに拡販
- ▶ DCI事業：NSK製品バンドル販売で競争力を強化、さらなる拡販
- ▶ 外科事業：競合撤退による商機の取り込みと、協業ビジネスの拡充
- ▶ 機工事業：自動化ニーズの取り込みに向けて提案活動を積極展開



2025年9月

日本デンタルショー（横浜）

国内

2025年の概況

販売実績
(前年比)
(現地通貨)



- 流通網改革の影響でQ3までは停滞したが、新流通網スタートのQ4販売は大幅伸長となった
- OEMビジネスは堅調となり二桁増収を達成

2026年の施策

販売計画
(前年比)
(現地通貨)



- 流通網改革の初年度として主力のハンドピースや予防歯科製品等の拡販と販売店との関係強化に注力
- OEM取引先との関係強化を図る



2025年9月

NSKアカデミーセミナー（フランス）

欧州

2025年の概況

販売実績
(前年比)
(現地通貨)



- 2025年に発売した予防歯科の新製品が大好評で、増収に寄与
- 市況感は良くないものの高性能・高品質なNSKブランドの製品群が顧客に選ばれ、販売伸長

2026年の施策

販売計画
(前年比)
(現地通貨)



- 主力のハンドピースやインプラントモーター、予防歯科製品を拡販
- さらなる商機獲得に向け、欧州域内の営業体制を大幅に強化



北 米

2025年の概況

販売実績
(前年比)
(現地通貨)



- 在庫調整が進み、Q4に大幅伸長
NSKブランド販売は前年並み
- DCI社によるNSK製品バンドル
販売率は前年比で大幅伸長
- OEM販売は下半期減速し、減収

2026年の施策

販売計画
(前年比)
(現地通貨)



- ハンドピース等主力製品の拡販と
DCIとのバンドル販売に注力
- DSOや歯科大学へのアプローチ
- OEMビジネスの拡充を図る



アジア

2025年の概況

販売実績
(前年比)
(現地通貨)



- 中国：需要底這い。価格重視の
市況が続き販売苦戦
- 韓国：需要弱含みで自社製品・
OEM販売いずれも低調
- アジア：需要停滞が続き販売減

2026年の施策

販売計画
(前年比)
(現地通貨)



- 四川工場の活用を含めて競争力
を確保しつつ、製品拡販に注力
- 韓国やアジアの需要は弱含みが
続くものの、NSK・リファイン
の拡販に注力



2025年11月

SIDC (サウジアラビア)



2025年11月

歯科大学生向け製品講座 (オーストラリア)

2025年の概況

販売実績
(前年比)
(現地通貨)

中近東

- 紛争拡大により需要回復が遅れる中、大型の政府入札案件の獲得等で販売を下支え、売上は前期並み

南 米

- インプラントモーターが大幅伸長し、ブラジルが好調。学納案件の獲得も重なり市場シェア拡大

ロシア

- ハンドピースや口腔外科製品の販売が好調。競合から当社への切替需要も重なり、大幅増収

豪 州

- 需要弱含みが続いたが政府入札・学納案件の獲得やインプラントモーター販売伸長で増収

2026年の施策

販売計画
(前年比)
(現地通貨)

- 先行き不透明な状態が続く見込みも製品優位性とアフターサービスの訴求で需要掘り起こし

- 需要が底堅く続く一方で価格競争も強まる。KOLとの連携を通じて市場プレゼンスを高め製品を拡販

- CIS諸国における販売網の強化とリファインを含めた主力製品群の拡販

- 主力のハンドピースやインプラントモーターの拡販。市場ニーズが高い予防歯科製品にも注力

相乗効果の高いNSK x DCIバンドル販売に引き続き注力

事業トピックス



ディーラーとの取引拡大

年始に行った新規取引ディーラーの営業担当者向けトレーニングが大きな効果をあげ、取引開始直後から計画を上回る結果を残した。引き続きディーラー経由のプライベート医院向けに注力



高い製品力を堅持

米国市場では100以上のデンタルチェアモデルが販売されている中、DCIの「Series5」は前年に引き続き最量販モデルの地位を獲得。競争力のある製品を通じてシェア拡大・収益性の向上を図っていく

2025 市場動向と事業概況

市場動向

- ・市場全体のデンタルチェア販売台数は前年比+1%と横ばい

事業動向

- ・最大手DSO向け販売が軟調で、DCI販売台数は前年比-7%
- ・販売台数は減少したが単価上昇により売上高は+6%の増収

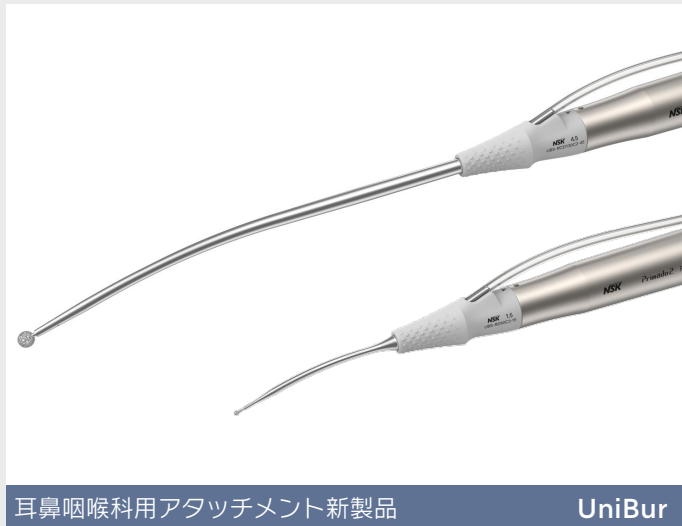
2026 市場予測と主な施策

市場予測

- ・需要は底堅く推移するものの、市場競争は激化する見込み

主な施策

- ・昨取引開始した大手ディーラー向け販売のさらなる拡大
- ・中小規模DSO・歯科大学へのアプローチの強化
- ・NSK x DCI バンドル販売率のさらなる拡大



2025年の概況

販売実績
(前年比)
(現地通貨)



国内

- 新規取引先獲得や既存顧客へのデイスポ販売が好調で二桁増収
脊椎分野の新製品も増収に貢献

欧州

- 営業体制の強化が奏功し案件獲得
デイスポ販売が好調で二桁増収

北米

- 競合撤退の商機を獲得。医療機器
メーカーとの協業も順調に拡大し
大幅増収

アジア

- 主力の中国市場でデイスポ販売が
引き続き伸長。南アジアで精力的
な営業活動を展開

2026年の施策

販売計画
(前年比)
(現地通貨)

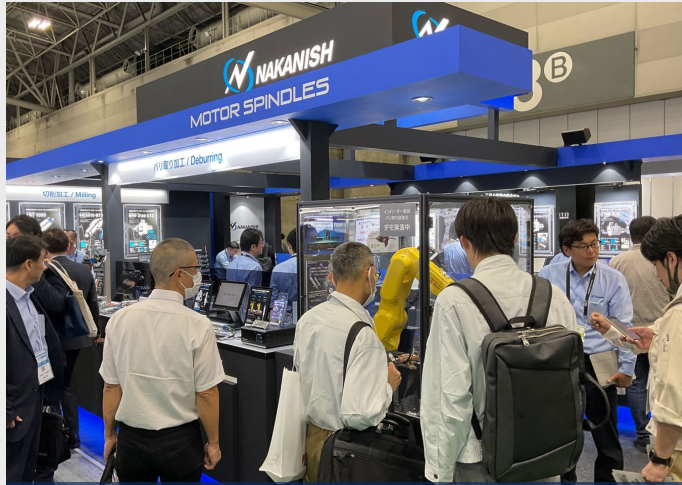


- 営業力の強化と新製品の販売体制
構築を推し進め、さらなる需要の
取り込みを図る

- 販路拡大による新市場開拓を遂行
新製品発売によって顧客満足度の
向上とさらなる製品拡販を図る

- KOLニーズに合致する新製品の
発売で案件獲得を狙うとともに
競合撤退による商機獲得に注力

- 主力市場の中国をフォローしつつ
韓国や東南アジア諸国の営業体制
の強化によって更なる拡販を図る



2025年10月

メトロテックジャパン 2025 (名古屋)

ナカニシ初のCNC旋盤用・増速スピンドル



増速スピンドル新製品

NGS-3140-CTZ01

2025年の概況

販売実績
(前年比)
(現地通貨)



2026年の施策

販売計画
(前年比)
(現地通貨)



国内

- 下半期に需要回復が進む。自動化ニーズや国内生産回帰需要を獲得

- 自動化需要の掘り起こしは進んでおり、着実な案件獲得を図る

欧州

- 厳しい市況が続いており販売軟調。販売力強化に向け代理店を再編成

- 新たな代理店の立ち上げフォローと微細加工分野の需要喚起を図る

北米

- 航空宇宙・医療機器産業向け精密スピンドル案件などが増収に寄与

- 代理店との関係強化や展示会出展により自動化需要の取り込みを図る

アジア

- 工作機械メーカーからの大型案件を着実に遂行し、大幅増収を達成

- 大型案件完了後を見越し、各地域の主要顧客へのアプローチを強化

NSK